



ひょうごの農林水産技術

— 農業編 —

No. 212 2021(令和3年). 2.

研究成果の紹介



高温障害を受けた玄米（白未熟粒：左）と正常な玄米（右）



UECSを利用したストックの自動灌水システム



近年発生の多いイネばか苗病の発病株（中央の黄化した徒長株）



但馬牛における受精後14日目胚からの細胞採取操作

目次

研究成果の紹介

- 1 水稲の高温登熟耐性品種を効率的に育種する方法…………… 2
- 2 「流し込み施肥法」による水稲省力栽培…………… 3
- 3 低コスト自動灌水装置を利用してストックの灌水作業を省力化…………… 4
- 4 LED防蛾灯を活用したシロイチモジヨトウ防除の取り組み…………… 5
- 5 発生が増えているイネばか苗病～発生予察データから見たその動向～…………… 6

次

- 6 ミオグロビン含量が神戸ビーフの美味しさに与える影響…………… 7
- 7 但馬牛における受精後14日目胚の回収の可能性…………… 8

トピックス

- 稲こうじ病の生態と防除のポイント…………… 9

現地情報

- 花壇苗における日没後加温技術の導入について 10